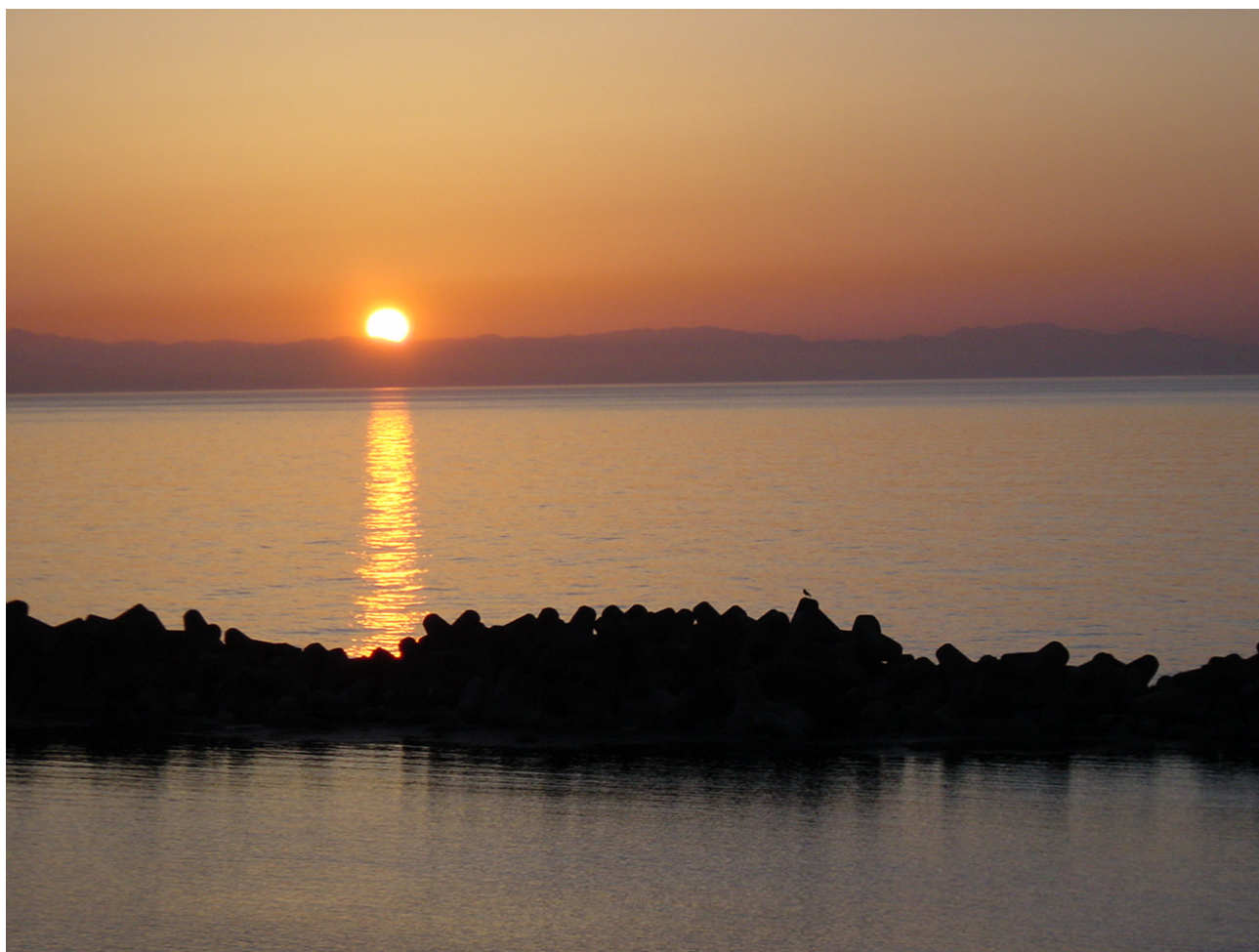




佐渡ヶ島に沈む夕日



ガバナー月信
2012.8

Vol.

13
最終号

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	2011-12 年度 地区主要行事	15
一年を振り返って 地区財務委員長	4	2011-12 年度 ガバナー公式訪問日程	16
一年を振り返って アシスタントガバナー	5	2011-12 年度 出席報告	17
「山の会」佐渡トレッキング報告	12	編集後記に代えて	18
第 2560 地区寄付報告	13	第 2560 地区会員数対比表	22
2011-12 年度 地区組織表	14		

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町 2 丁目 12 2 階 TEL : 025-201-7802

国際ロータリー第 2560 地区 2011-2012 年度ガバナー：石本 隆太郎

ロータリーの変革をもとめて！

2011～12 年度

ガバナー 石本隆太郎



7 月に入り、パスト・ガバナーとしての 1 ヶ月がアッという間に経過し、日本時間で 28 日から始まったロンドン・オリンピックでの、日本選手の活躍に一喜一憂しながら、ガバナー月信「最終号」の原稿に汗を流しております。

3 年前、ガバナー・ノミニーをお引き受けする直前に起きたリーマン・ショックの影響は、思ったほどでありませんでした。しかし、昨年 3 月 11 日の東日本大震災は、福島原発の放射能汚染問題とも絡み、我国経済等に与える影響は、規模、期間共に想像を絶するものがあり、私のガバナー年度の事業にも、大きな影響をもたらしました。

ガバナー・エレクトに就任して、地区組織や地区予算、地区行事予定の具体的作成に取掛った際、最も念頭においたのが、「ここ 10 年間の推移からしても、世界の先進国の中で、何故、我国だけが会員数を極端に減らしているのか？」という点でありました。

新潟ロータリークラブに入会して 30 年になりますが、5 回も会員増強委員長を経験させていただき、さらに又、2006～07 年の中條ガバナー年度の地区クラブ奉仕大委員長兼会員増強委員長を仰せつかり、“会員純増日本一！”を達成した結果、「会員増強は、クラブ活性化にとって、最も重要なバロメーターである。」との確信を持ちました。

我国のバブル経済崩壊に歩調を合わせるように、1997 年のピーク時には 13 万人を数えた我国の会員数は、今や 9 万人を割り込み、復調の気配が見えません。第 2560 地区だけ見ても、1992～93 年の栗山ガバナー年度に、新潟県だけで 2,669 人を数えた会員が、石本年度の 7 月 1 日現在の会員数 2,009 名で 660 名減少し、2,000 名割れ寸前です。

会員減少は地場産業の不振もあって、地方の小規模クラブほど厳しい状況が顕著で、10 年前の 2003～04 年の原ガバナー年度には、会員数 20 名未満のクラブは 3 クラブだけでしたが、今や 9 クラブに増え、その内、3 クラブが 10 名未満。まさに、クラブ消滅の危機にあるといっても過言ではありません。

会員減少を経済的理由で片づけるのは簡単ですが、それ以外の理由もあるのではないかとこの疑問に答えを見つけないといふのも、ガバナー受諾の際の理由の一つでした。

「自らの足元を見直そう！」をスローガンに、地区の具体的運営方針として、「7 つのお願い」を打ち出したのは、そういう理由からです。ガバナー公式訪問等の場を通じ、クラブの定款・細則の見直しと共に、会員増強と出席率の重要性を訴え、会員減少の著しいクラブには、「会費削減と共に、例会開催時間等の抜本的対策を早急に講じないと、10 年後、20 年後の明日は無い。」と、厳しいことを申し上げてまいりました。

年度のスタート直後に、クラブ奉仕委員会の主催で会員増強セミナーを開催。20 年間にわたる第 2560 地区のクラブ別会員数対比表（会員増強健康診断書）を基に、クラブ会員増強委員長研修を行い、意識高揚を図りました。6 月 30 日現在の地区会員純増数は 38 名と、減少傾向に歯止めをかけ、第 2830 地区(青森県)に次いで全国 2 位となりました。

会員増強とともに、ロータリーの奉仕活動のバロメーターであるロータリー財団への寄付と、ロータリー米山記念奨学会への寄付の速報値も出揃いました。両地区委員会のご努力と、各クラブのご協力により、会員一人あたりの寄付額は、ロータリー財団が137.00ドルで全国34地区中11位、米山記念奨学会も18,078円で全国34地区中8位という、ほぼ前年並みの実績を上げることが出来、心から感謝申し上げます。

両委員会とも、新年度に入り、それぞれのセミナーを開催して詳しい分析結果が報告されると思います。地区全体ではまずまずでありましたが、クラブ別に見てみますと、クラブの大小にかかわらず、一人あたりの寄付額に大きなバラツキが見られます。いずれも、会員個人の任意による寄付でありますから、会員増強のように地区内順位を競うような勧誘は好ましくありませんが、会員の年会費はほとんどがクラブ運営費等で費消され、奉仕活動に活用されるのは特別会費（C会計）部分と、ニコニコ・ボックス、そして、ロータリー財団と米山奨学会への寄付であるという現実を、全会員に理解していただく必要があります。そのためにも、地区委員会はセミナー等で、クラブ委員長にできるだけ分かりやすく説明し、モチベーションを高める努力が必要です。

今年度は経済環境の厳しい中で、地区が自ら率先して経費節減に取り組むべきであるとの考えから、過去10年間の地区会計の予算・決算の対比表を作成し、今年度の予算編成段階から、徹底した緊縮財政方針を打ち出しました。この方針は、諮問委員会等で「前例に従うべきである。」との意見も頂戴いたしましたが、地区会計から公式訪問時のニコニコボックスへの支出の廃止や、シンボル・バッジの会員全員への配布の中止、P E T Sの義務出席者は、原則、クラブ会長だけとし、クラブ幹事は任意出席とする等々、“Simple is the Best!”を合言葉に、地区運営の簡素化を心がけました。我々は、故佐藤千壽 2580 地区パスト・ガバナーの遺稿『他人の金で奉仕をするという虚構』にある言葉を、今一度、噛み締める必要があります。

たまたま、前年度の地区決算が大幅予算超過となり、繰越金が従前の3分の1以下になることが判明した結果、さらなる緊縮財政に努めました。懸案であった地区会計基準の見直しについても年度末ギリギリにクラブ会長会のご承認をいただき、鈴木ガバナー年度に申し送ることが出来ました。

クラブ会長の皆さんには、湯田上温泉に一泊。親睦を兼ねながら、地区会計に関して関心を高めていただき、その後も前年度地区会計の決算案の承認や、慰労会を兼ねての地区会計基準案の承認という場で、3回にわたるクラブ会長会議を開催させていただき、地区とクラブ間の絆は、これまで以上に強化されたと思います。

最後になりましたが、アシスタント・ガバナーの皆さんには、通常の任務の他に、会員増強委員会委員、オン・ツー・バンコック委員、表彰審議会委員等々、一人三役、四役を務めていただくと共に、IMを担当していただき、大変なご苦勞をおかけいたしました。又、バンコック国際大会には、私ども夫婦に、鈴木GE、山崎GN、AG4名も加わり、80名を超える会員ご家族の参加をいただき、心から感謝しております。

この紙面では、まだまだ語りつくせないことも多いのですが、この2年半余り、苦勞も多かったけれども、誰よりもロータリーを楽しませていただきましたことに感謝申し上げ、ガバナー月信・最終号を締めさせていただきます。ありがとうございました。

一年間を振り返って



地区財務委員長 高橋 康隆(新潟RC)

石本ガバナー年度が終了いたしました。この間一般会計、特別会計の予算内費消につきまして、関係の皆さんからご理解とご協力をいただき、各RCから拠出していただいた資金を大切にに使わせていただきました。結果は収支決算書にてご報告いたしますので、宜しくお願いいたします。

1年を振り返り、地区の資金を担当して感じた事を1つだけ挙げたいと思います。現状ではガバナー事務所はエレクトの時から開設されますので、運営の為の資金は2年間必要となります。

一方、収入は、ガバナー年度の7月に各RCからの拠出により入金いたしますが、それ以前のエレクトの1年間は、ガバナーエレクトが国際協議会、国際大会に出席する為の旅費の補助金と、そして会長エレクト研修セミナー及び地区協議会開催の為の補助金についてはその年度のガバナー事務所より送金支給されます。それ以外のエレクト事務所の開設費用を始め、事務所賃借料、人件費、事務用品費、通信費等の事務所運営費の資金がありません。

この為、毎年、ガバナー事務所よりエレクト事務所に対し、次年度繰越金の前渡し金として相当の額を送金してもらっているのが実態であります。そこで、私はこのような状況が今後も続くのであれば、ガバナー年度の拠出金入金までの間、つなぎ資金として利用できる「ガバナーエレクト事務所運営資金」を新たに設置し、役割が終わったら次年度へ順送りしていったらどうかと思います。お金は現在特別会計の繰越金が相当な金額になっておりますので、ここから使途変更をして「ガバナーエレクト事務所運営資金」を設置することで、各RCへの負担は生じません。

そしてその後、特別会計の繰越金の金額の妥当性を検討したら如何でしょうか。

地区大会記念ゴルフ大会での東日本大震災復興支援チャリティーについてご報告

地区大会記念ゴルフ大会担当幹事 金親 顯男(新潟RC)

地区大会記念〔東日本大震災復興支援チャリティー〕ゴルフ大会に募金 355,856 円が集まりました。そのすべてを被災された皆さんに有効的に活用されるために、地区大会実行委員会に一任し、放射能汚染で避難区域に指定されている福島県 浪江ロータリークラブに託しました。

AG を楽しんだ1年を振り返って

第1 分区アシスタントガバナー 川崎 久(村上RC)

AG 研修会から始まり地区運営会議で AG の役割等々を理解し、4 月に第1 分区各クラブへ AG 就任挨拶開始、6 月に次年度会長・幹事会を終え、7 月スタートとなりました。

ガバナー公式訪問では、クラブ現況報告書に国際ロータリーの標準定款が全文正しく記載されているか、クラブ細則は現状にあっていくかをご指導頂きました。

AG の最大の事業である IM の開催では、第1 分区内にパストガバナー不在のためオブザーバーとして、石本ガバナーにご出席頂き、地区クラブ奉仕委員長の高橋登氏による「クラブの改革と活性化」の題目で基調講演を頂きました。その後、各クラブによる「クラブの改革・活性化」の事例発表をお願いした。クラブの大小はあるが「守るべき事は守り、改めるべき事は改める」に着眼して、クラブの独自性を生かした改革を推進できる研修会でした。

又、第1 分区からのガバナー候補選出と言う使命を受け奔走し、擁立者から承諾を得た時の感激は今でも忘れません。大変でしたが非常に楽しい経験をさせて頂いた1 年でした。



「奉仕を通して、平和を」

第2分区アシスタントガバナー 大西 淳(新潟北RC)

時の経つのは早いもので、鈴木ガバナー年度も1か月を過ぎようとしています。

「奉仕を通じて平和を」をスローガンに昨年6月9日をかわきりに、前第2分区、AG青池秀夫氏と2人で9クラブを挨拶訪問し始まったAG活動も6月21日新潟西ロータリークラブへ次年度AG箕輪光泰氏と一緒に挨拶廻りで1年のAG活動を無事終わることが出来ました。

年3回の9クラブ訪問を終え、温かく迎えてくださった会長、幹事、会員の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

石本隆太郎ガバナー、小山楯夫地区幹事両人の卓越したロータリー経験者の下良きご指導をいただき、心より感謝いたします。これからも奉仕団体の一員として、

「怒の心を以って・奉仕を通じて平和を」

を願い続けていきたいと思えます。

2011年9月3日開催のIM（ホストクラブ新潟北RC）そして2012年4月21、22日地区大会に展示パネル等参加してくださった佐渡南ロータリークラブさん、新潟北ロータリークラブの皆さんに多大なる感謝の意を表します。

最後にガバナー事務所スタッフ

大城洋子さん・高橋聡子さん 両人の多大の助けを感謝します。



多くの仲間を支えられて・・・

第3分区アシスタントガバナー 小柳 陽一(新津RC)

石本年度の第3分区のAGが、当新津RCの担当ということで、私に白羽の矢が立ちました。しかしながら、私としては、ロータリー歴こそそれなりに長いものの、「そもそもその器ではない。」と強く固辞しましたが、もはやAG決定の期限が迫っており、私に務まるかと不安ながらもお引き受けすることにしました。

就任早々には、五泉RCの丹羽前AGより、「分からないことがあれば、何でも相談してください」とお声掛けいただきました。また、IMでは、吉田健治IM実行委員長のち密な計画と荻野会長の強いリーダーシップの下、我が新津RC会員のチームワークにより、素晴らしい成果を収めることができました。

もうひとつの大きな行事であったGSEメンバー受入れでは、新津中央RCの渡辺嘉子地区GSE委員を中心に新津中央RC、新津RC、村松RC、白根RCの会員の皆様のご協力により、立派なおもてなしをすることができました。

また、クラブ訪問では、7月豪雨の前日の阿賀野川ラインRCを皮切りに各クラブの皆様から暖かく迎え入れていただき、公式訪問では、親交を深めさせていただきました。

浅学非才な私が、こうして無事、AGの大役を恙なく終えることができますのも、第3分区の多くの素晴らしい仲間のお陰と感謝申し上げ、AG退任のご挨拶といたします。



楽しいクラブ作りにロータリアンの皆様に感謝！

第4分区アシスタントガバナー 山田 文雄(見附RC)

私は、見附ロータリークラブにチャーターメンバーで入会致しまして30年になります。クラブでは23代会長をさせて頂きました。2011～12年度は、石本ガバナーの下、2560地区第4分区アシスタントガバナーとして各ロータリアンの皆様方のご協力により楽しく勤めさせて頂けたと厚く感謝申し上げます。IMを始め、4月には、三条、見附各クラブがGSE（オランダの5名）をお迎えしてクラブ共々楽しく勉強させて頂きました。5月には田中作次会長エレクト就任記念の世界大会（バンコック）に参加出来た事を喜んで居ります。第4分区11クラブを訪問させていただき各クラブがそれぞれの個性を出して楽しいクラブ作りと会員増強に取り組んで活動をされていました。地区同僚のアシスタントガバナーの皆様との素晴らしい出会いと厚い友情、そしてご厚誼に感謝申し上げます。又、支えて下さった石本ガバナー事務所のスタッフの皆様には深甚なる感謝とお礼を申し上げます。今後共、末永い御交情を宜しくお願い申し上げます。



1 年間ありがとうございました。

第 5 分区アシスタントガバナー 吉田 拓蔵(栃尾RC)

2 度目の AG をお受けして早や 1 年間が経過しました。

一昨年の 10 月に栃尾クラブに AG の当番がめぐり、栃尾クラブとして候補者を内定しておりましたが駄目になり、仕方なく私が再度お引き受けすることとなりました。7 年前に AG をお引受けした年は、中越地震があり、第 5 分区が大被害を受けました。その災害復興のため、本来の AG の仕事をしなかったのが、今一度 AG をやりなさいとの因果かなと思いました。

公式訪問前のクラブ訪問の時、皆様方に 2 度目の AG です。宜しく！と紹介し、気楽に、楽しく、訪問が出来たような気がしました。そのおかげで、会員の皆さんが、親しく笑顔で受け入れていただいたことに深く感謝しております。

AG の役割として、各クラブとガバナーとの連絡調整並びにガバナーの任務の一部の代行など、大変重要な事柄があります。今年の石本ガバナーの方針に 7 つのお願いがあります。その中の会員増強と **Simple is the Best** をモットーに、を強調されました。また、定款・細則に沿ったクラブ運営など、石本ガバナーらしいご指導に感服いたしました。

私は、第 5 分区の AG として、各クラブのロータリー活動の支援や助言などはしないで、石本ガバナーの方針に沿った、クラブ運営をお願いしてきました。

AG の大事な仕事として、オンツーバンコックがあります。

2012-2013 年度 RI 会長エレクトに栃尾出身の田中作次氏が選ばれました。今年の国際大会に会長エレクト・田中作次氏の挨拶があるため、国際大会参加に AG の立場と田中氏が栃尾出身であることを PR して、栃尾クラブをはじめ第 5 分区の各クラブ会員に強力に呼びかけました。その結果、多数の参加があり、AG の仕事、オンツーバンコックも良かったな—と思いました。

今年度の石本ガバナーの地区運営に、各クラブの活性を高める為に、クラブの皆さんが個々に「自らの 足元を 見直そう」とあります。クラブの活性化については・過去～現在～そして未来へ・と原点に返って、会長・幹事さんにお任せしたいと思います。1 年間の出会いの中で、各クラブの会長・幹事さんはじめ、メンバーの皆様方の人柄とロータリアンの資質を学ばせて頂きました。

忙しいロータリーライフを経験し、ロータリーの素晴らしさを実感いたしました。第 5 分区の 7 クラブのロータリアンに心から感謝を申し上げ、1 年間の御礼といたします。



国際ロータリークラブバンコック大会 田中作次RI会長就任記念

2012年5月8日～12日

Simple is the Best

第6分区アシスタントガバナー 大竹 一夫(雪国魚沼RC)

2010年12月のAG研修に始まったAGの活動も、始まってみればあっという間に終わった感があり、分区内クラブに対して責務を果たせたのか？など反省の気持ちもいっぱいあります。反面、石本ガバナーの示した運営方針、とりわけ「Simple is the Best」は私の考えとピッタリはまり、分区内でのAG活動でも示せたのではないかと考えております。

私のクラブで始めた現況報告書の手作りの情報は、財政状況が厳しい中、年度最後のクラブ訪問の時までも問い合わせがありました。IMでは、自然活動家の講演と会長フォーラムに絞り、失礼ながら研修リーダー等内部指導者はお呼びしませんでした。会長フォーラムにおいては、各クラブの運営の手の内を、例えば食事の価格や事務委託費まで、情報交換をしていただき、好評であったと考えております。

石本ガバナーの「定款・細則の遵守」も恥ずかしながら私自身もその重要性を始めて認識させられ、各クラブもよく理解できたご指導であったと感じております。大変勉強になった一年でありました。

石本ガバナーはじめ地区役員・事務局の皆様、そして第六分区のロータリアンの皆様に深く感謝と御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。



みなさんに助けられたこの 1 年

第 7 分区アシスタントガバナー 月岡 精一(糸魚川中央RC)

長かったこの 1 年ようやく終わることができました。

昨年 4 月より第 7 分区 AG として各クラブに挨拶に出向き、各クラブの皆さんより暖かく迎えていただき感激いたしました。

私は AG として何をすべきかいろいろと考えてみましたが、良い案が浮かばず、初めに会長幹事会を行いその後、第 7 分区歴代の AG(分区代理)の OB 会を開催しました。第 7 分区をどのように進めてこられたかを教えていただき、年度の進め方の参考にしました。

IM の開催、GSE の受入れ、会員増強、国際大会の参加など第 7 分区全体の協力がなければ進めることができません。皆さんに助けていただきました。

第 7 分区全体でなにか事業を計画したいと思っていたところに新井クラブより提案があり、東北で災害に遭われた子ども達に絵本を送ることにしました。

皆さんの協力で 480 冊の絵本が集まり上越市役所を通して、上越市へ疎開している子ども達に渡すことができました。上越市役所で贈呈式を行い、上越市長より大変喜んでもらいました。

今年度私は AG として「助け合う心」をロータリアン皆さんから教えていただく 1 年でした。今後もみんなで助けあえるクラブ作りに頑張っていきたいと思います。

1 年間ありがとうございました。



ロータリー「山の会」佐渡トレッキング報告

ロータリー「山の会」 幹事 鹿嶋 和子(中条胎内RC)



「山の会」地区行事も今回で 21 回目を迎え 37 名のご参加を頂きました。

今年度は天候にも恵まれ、佐渡の自然と人情に接しロータリアン同志の親睦と友好がより深まった「山の会」佐渡トレッキングと成りました。

平成 24 年 6 月 2 日 (土曜日) 午前 7 時 30 分に新潟港・佐渡汽船乗り場に集合し、朱鷺

の巣立ちで注目の佐渡ヶ島・両津港まで満席状態のジェットfoilで渡りました。同じ頃、直江津港から、小木港までカーフェリーを利用して新井ロータリー、高田ロータリーのメンバーも車に乗り込み別ルートで参加されました。

初日、大野亀山頂までは、カンゾウと踊子草の群生が咲き、水平線の湾曲を感じながら、登り坂を 30 分程のトレッキング。僅かなスペースを利用して乾杯したり、おにぎり、笹団子、山菜等、それぞれ持ち寄った食料品が並びます。佐渡の地酒と新鮮な日本海の鮮魚の魅力に早々と親睦会をするメンバーも居りました。山の会ならではの楽しみです。

午後 6 時から Ryokan 浦島での親睦会は、佐渡ロータリー、佐渡南ロータリークラブの皆様のご配慮で、盛大に佐渡の地酒と豪華な海の幸を頂きながら楽しく挙行出来ました。佐渡の両クラブの皆様の友情に深く感謝申し上げます。又、地区ガバナーよりご支援を頂き誠に有難く存じます。第 1 回目から参加のメンバーも居られ「山の会」の歴史を感じる親睦会でした。

翌 3 日 (日曜日) 午前 8 時に宿を出発し、アオネバ溪谷に沿って新緑の登山道を一步一步登りました。ヤマオダマキ、山芍薬、シラネアオイの群生が素晴らしい尻立山頂へのルートでした。ドンデン山荘で汗を流し、眼下に広がる両津湾の景観に感動しながらドンデンライナーのバス時間まで山談議、ロータリー談議に華が咲きました。2 日間に渡り佐渡の

魅力を十分に堪能し、次年度の「山の会」への参加を誓い合い新潟港での解散と成りました。

多人数のためにガイド役を引き受けて頂きました佐渡両クラブの方々には、有難く御礼申し上げます。又 親睦会のみ参加でご足労お掛けしたメンバーにも厚く御礼申し上げます。ここに集合写真など掲載させて頂き、報告と致します。



ロータリー財団・米山記念奨学会寄付金 分区分別一覧

分 区	クラブ名	ロータリー財団寄付					ロータリー米山記念奨学会寄付					
		会員数 (11/07/01)	2011年7月1日～2012年6月30日			年次寄付総額 (\$)	会員数 (12/01/01)	普通寄付金 単価(年額)	2011年7月1日～2012年6月30日			一人当たり 平均寄付額
			APF目標額(\$)	達成率%	一人当たり(\$)				普通寄付金	特別寄付金	合 計	
R 1 第 2 5 6 O 地 区	第1分区分	333	33,900	149.33%	152.02	50,621.98	334	☆	1,793,000	3,988,500	5,781,500	17,310
	第2分区分	392	45,400	123.45%	142.97	56,045.71	407	☆	1,576,000	6,733,000	8,309,000	20,415
	第3分区分	148	13,770	119.79%	111.46	16,495.49	148	☆	594,000	1,593,822	2,187,822	14,783
	第4分区分	371	39,080	135.48%	142.71	52,946.71	375	☆	1,500,000	4,918,500	6,418,500	17,116
	第5分区分	297	30,800	121.52%	126.02	37,427.17	305	☆	1,208,000	5,087,184	6,295,184	20,640
	第6分区分	147	14,800	130.04%	130.93	19,246.02	151	☆	685,000	1,688,000	2,373,000	15,715
	第7分区分	318	33,600	124.56%	131.62	41,853.66	320	☆	1,631,000	3,884,300	5,515,300	17,235
	合 計	2,006	211,350	129.94%	136.91	274,636.74	2,040	☆	8,987,000	27,893,306	36,880,306	18,078
第 1 分 区	新発田	79	7,800	128.37%	126.75	10,013.00	80	10,000	800,000	805,000	1,605,000	20,063
	村上	35	3,500	352.88%	352.88	12,350.79	35	4,000	140,000	414,000	554,000	15,829
	水原	22	2,500	102.57%	116.55	2,564.20	24	4,000	84,000	408,000	492,000	20,500
	中条	35	3,800	196.39%	213.22	7,462.76	31	4,000	140,000	396,000	536,000	17,290
	新発田城南	44	4,400	102.02%	102.02	4,489.00	44	4,000	176,000	616,000	792,000	18,000
	豊栄	21	2,100	64.59%	64.59	1,356.42	22	4,000	86,000	228,000	314,000	14,273
	新発田中央	46	4,700	107.26%	109.59	5,041.00	47	4,000	186,000	620,000	806,000	17,149
	中条胎内	28	2,800	152.00%	152.00	4,256.02	28	4,000	112,000	391,500	503,500	17,982
第 2 分 区	村上岩船	23	2,300	134.30%	134.30	3,088.79	23	3,000	69,000	110,000	179,000	7,783
	新潟	77	8,000	72.58%	75.41	5,806.64	87	4,000	308,000	902,000	1,210,000	13,908
	新潟東	54	6,000	127.87%	142.07	7,672.00	57	4,000	216,000	720,000	936,000	16,421
	新潟南	71	7,400	171.28%	178.51	12,674.54	74	4,000	284,000	1,420,000	1,704,000	23,027
	佐渡	14	1,500	100.00%	107.14	1,500.00	15	4,000	58,000	270,000	328,000	21,867
	新潟西	34	5,000	179.57%	264.07	8,978.42	33	4,000	136,000	560,000	696,000	21,091
	佐渡南	44	4,500	100.58%	102.87	4,526.07	44	4,000	178,000	637,000	815,000	18,523
	新潟北	36	3,700	190.16%	195.44	7,035.76	36	3,000	108,000	927,000	1,035,000	28,750
第 3 分 区	新潟中央	22	2,400	99.00%	108.00	2,376.00	22	4,000	88,000	498,000	586,000	26,636
	新潟万代	40	6,900	79.37%	136.91	5,476.28	39	5,000	200,000	799,000	999,000	25,615
	新津	25	2,500	57.00%	57.00	1,425.00	25	4,000	100,000	232,000	332,000	13,280
	村松	7	1,000	169.23%	241.76	1,692.31	8	4,000	32,000	100,000	132,000	16,500
	五泉	22	2,200	138.64%	138.64	3,050.00	22	4,000	88,000	260,000	348,000	15,818
	白根	49	3,570	121.36%	88.42	4,332.50	50	4,000	198,000	731,000	929,000	18,580
	新津中央	35	3,500	145.59%	145.59	5,095.68	33	4,000	136,000	270,822	406,822	12,328
	阿賀野川ライン	10	1,000	90.00%	90.00	900.00	10	4,000	40,000	0	40,000	4,000
第 4 分 区	三条	52	5,200	100.00%	100.00	5,200.00	56	4,000	216,000	680,000	896,000	16,000
	燕	26	3,080	139.61%	165.38	4,300.00	26	4,000	104,000	300,000	404,000	15,538
	加茂	38	3,900	20.51%	21.05	800.00	38	4,000	152,000	140,000	292,000	7,684
	三条南	48	5,000	147.00%	153.13	7,350.00	47	4,000	190,000	675,000	865,000	18,404
	分水	32	3,300	160.61%	165.63	5,300.00	31	4,000	126,000	450,000	576,000	18,581
	見附	15	1,700	110.00%	124.67	1,870.00	18	5,500	88,000	0	88,000	4,889
	吉田	37	3,900	149.82%	157.92	5,842.95	37	4,000	148,000	469,000	617,000	16,676
	三条北	66	6,900	267.85%	280.03	18,481.66	68	4,000	268,000	1,790,000	2,058,000	30,265
第 5 分 区	巻	14	1,400	105.36%	105.36	1,475.00	14	3,000	42,000	135,500	177,500	12,679
	田上あじさい	5	600	42.50%	51.00	255.00	6	4,000	22,000	40,000	62,000	10,333
	三条東	38	4,100	50.54%	54.53	2,072.10	34	4,000	144,000	239,000	383,000	11,265
	長岡	41	4,200	26.25%	26.89	1,102.56	43	4,000	168,000	788,000	956,000	22,233
	柏崎	44	4,500	101.93%	104.25	4,586.94	44	4,000	176,000	578,000	754,000	17,136
	長岡東	68	6,800	143.98%	143.98	9,790.80	65	4,000	266,000	1,328,684	1,594,684	24,534
	柏崎東	43	4,500	93.68%	98.03	4,215.41	45	4,000	178,000	480,000	658,000	14,622
	栃尾	22	2,200	100.09%	100.09	2,202.06	23	4,000	92,000	402,500	494,500	21,500
第 6 分 区	長岡西	38	4,100	252.94%	272.91	10,370.40	43	4,000	162,000	810,000	972,000	22,605
	柏崎中央	41	4,500	114.64%	125.83	5,159.00	42	4,000	166,000	700,000	866,000	20,619
	十日町	32	3,100	138.13%	133.81	4,281.92	34	4,000	128,000	470,000	598,000	17,588
	小千谷	33	3,400	213.65%	220.12	7,264.10	37	6,000	198,000	695,000	893,000	24,135
	雪国魚沼	22	2,300	139.13%	145.45	3,200.00	20	5,000	105,000	95,000	200,000	10,000
	十日町北	25	2,300	100.00%	92.00	2,300.00	23	4,000	100,000	348,000	448,000	19,478
	津南	23	2,400	41.67%	43.48	1,000.00	25	4,000	100,000	80,000	180,000	7,200
	越後魚沼	12	1,300	92.31%	100.00	1,200.00	12	4,500	54,000	0	54,000	4,500
第 7 分 区	高田	69	7,600	126.45%	139.28	9,610.50	67	4,000	272,000	1,030,000	1,302,000	19,433
	直江津	44	4,500	148.83%	152.22	6,697.46	44	8,750	385,000	470,000	855,000	19,432
	新井	33	3,500	98.18%	104.13	3,436.25	34	4,000	134,000	605,300	739,300	21,744
	糸魚川	35	3,600	108.87%	111.98	3,919.30	35	4,000	142,000	111,000	253,000	7,229
	妙高高原	6	700	0.00%	0.00	0.00	6	4,000	24,000	0	24,000	4,000
	高田東	36	3,600	251.67%	251.67	9,060.27	37	4,000	146,000	386,000	532,000	14,378
	糸魚川中央	36	3,800	100.73%	106.33	3,827.88	36	8,000	288,000	377,000	665,000	18,472
	頸北	16	1,800	102.22%	115.00	1,840.00	16	4,000	64,000	306,000	370,000	23,125
第 7 分 区	越後春日山	43	4,500	76.93%	80.51	3,462.00	45	4,000	176,000	599,000	775,000	17,222
	D2560	0	0	0.00%	0.00	185.33	0	0	0	0	0	0
合計		2,006	211,350	130.03%	137.00	274,822.07	2,040		8,987,000	27,893,306	36,880,306	18,078

2011-2012 年度 地区主要行事

年 月 日				行 事	会 場
2011年 (H.23)	7月	1	(金)	元現次ガバナー懇談会	東京
		9	(土)	新世代危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
		16	(土)	会員増強セミナー	ホテルイタリア軒
		17～18	(日～月)	インターアクト年次大会(ホスト校:村松高等学校)	五泉市 チャレンジランド杉川 他
	8月	会員増強および拡大月間			
		5	(金)	第3回派遣1年学生及び受入クラブオリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル新潟
		5	(金)	2010-11年度派遣1年学生帰国報告会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		5	(金)	夏期派遣学生、2011-12年度派遣1年学生壮行会合同パーティー	ANAクラウンプラザホテル新潟
		20	(土)	2012-13年ロータリー財団国際親善奨学生選考会	ホテルオークラ新潟
		20	(土)	第1回ロータリー財団セミナー	ホテルオークラ新潟
		27	(土)	国際奉仕フォーラム	柏崎商工会議所
		27	(土)	米山奨学生親睦交流会	佐渡
		28	(日)	地区諮問委員会	ホテルイタリア軒
	9月	新世代のための月間			
		3	(土)	第2分区IM(大西AG・新潟北RC)	万代シルバーホテル(新潟市)
		4	(日)	第5分区IM(吉田AG・栃尾RC)	栃尾産業交流センター(栃尾)
		10	(土)	第7分区IM(月岡AG・糸魚川中央RC)	ふれあいセンター(糸魚川市)
		11	(日)	第6分区IM(大竹AG・雪国魚沼RC)	ホテル坂戸城(南魚沼市)
		17	(土)	第3分区IM(小柳AG・新津RC)	キャトルセゾン(新津)
		23	(金)	ロータリー財団国際親善奨学生オリエンテーション	万代シルバーホテル(新潟市)
	10月	24	(土)	第4分区IM(山田AG・見附RC)	ホテルつるや(見附)
		職業奉仕月間・米山月間			
		1～2	(土～日)	ライラ研修会	ニューグリーンピア津南
		8	(土)	第1分区IM(川崎AG・村上RC)	大観荘(村上)
		15	(土)	第1回米山奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
	11月	29～30	(土～日)	第2560地区クラブ会長会	わか竹(田上町)
		ロータリー財団月間			
		12	(土)	ロータリーアクト地区大会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		23	(水)	ロータリー財団地域セミナー	リーガロイヤルホテル大阪
	12月	25～26	(金～土)	ロータリー研究会	リーガロイヤルホテル大阪
		家族月間			
		3	(土)	米山学友会総会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		10	(土)	地区諮問委員会・鈴木ガバナーエレクト渡米壮行会	長岡グランドホテル
		17	(土)	ロータリー派遣1年交換学生選考試験	ANAクラウンプラザホテル新潟
2012年 (H.24)	1月	23	(金)	インターアクト献血呼びかけキャンペーン	上・下越地区
		ロータリー理解推進月間			
		14	(土)	2012学年度米山奨学生選考会	チサンホテル(新潟市)
	2月	28	(土)	地区諮問委員会	ホテルイタリア軒
		世界理解月間			
		4	(土)	第2回米山奨学委員長セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟
		18	(土)	第2回ロータリー財団セミナー	ホテルオークラ新潟
		24	(金)	社会奉仕委員会セミナー	まちなかキャンパス長岡
	3月	識字率向上月間			
		3	(土)	米山奨学生歓送会	万代シルバーホテル(新潟市)
		3	(土)	第2回クラブ会長会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		10～11	(土～日)	第24回全国ロータリーアクト研修会	朱鷺メッセ(新潟市)
		18	(日)	村松RC50周年	さくらんど会館(村松)
	4月	22～25	(木～日)	インターアクト海外研修旅行	清傳高級商業職業学校(台湾)
		ロータリー雑誌月間			
		7	(土)	米山カウンセラー研修会	万代シルバーホテル(新潟市)
		13	(金)	地区大会記念ゴルフ大会	紫雲ゴルフ倶楽部
		21	(土)	職業奉仕委員会セミナー	ホテルオークラ新潟
		21	(土)	石本年度第2560地区地区大会(1日目)	ホテルオークラ新潟
		21	(土)	石本年度RI会長代理歓迎晩餐会	ホテルオークラ新潟
		22	(日)	石本年度第2560地区地区大会(2日目)	ANAクラウンプラザホテル新潟
	5月	27～28	(金～土)	インターアクト海外受入交流(2840地区共同事業)	伊勢崎市立伊勢崎高等学校
		6～9	(日～水)	RI国際大会	タイ・バンコック
		12	(土)	米山奨学生オリエンテーション・歓迎会	ホテルオークラ新潟
		26	(土)	五泉RC50周年	ホテルマリエール(五泉市)
	6月	ロータリー親睦活動月間			
		2～3	(土～日)	「山の会」佐渡トレッキング	佐渡市
		9	(土)	小千谷RC50周年	グリーンパーク(小千谷)
		16	(土)	米山学友会企業見学会	新潟市・三条市
		17	(日)	ロータリー財団学友会総会	ホテルイタリア軒
		23	(土)	第3回クラブ会長会・地区諮問委員会・石本年度 合同慰労会	大広間 信濃川(新潟市)

2011-2012 年度 ガバナー公式訪問日程

2011年

※クラブ名のあとの数字は分区

	月	火	水	木	金	土	日
7月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18 海の日	19 長岡 5	20	21 長岡西 5	22 高田 7	23	24
	25	26 三条北 4	27	28	29	30	31
8月	1	2	3	4 三条東 4	5 中条胎内 1	6	7
	8	9	10 三条 4	11	12	13	14
	15	16	17	18 白根 3	19	20	21
	22 新発田 1	23 栃尾 5	24 十日町北 6	25 十日町 6	26	27	28
	29	30 新津中央	31				
9月				1 新発田城南 1	2	3	4
	5 三条南 4	6 佐渡南 2	7	8 佐渡 2	9	10	11
	12	13	14 長岡東 5	15 五泉・阿賀野川 ライン 3	16	17	18
	19 敬老の日	20	21 雪国魚沼 6	22	23 秋分の日	24	25
	26 村上岩船 1	27 村松 3	28 巻 4	29 糸魚川 7	30 糸魚川中央 7		
10月						1	2
	3 高田東 7	4 柏崎中央 5	5 柏崎 5	6	7	8	9
	10 体育の日	11 新発田中央 1	12	13 村上 1	14	15	16
	17 柏崎東 5	18 越後魚沼 6	19 中条 1	20 小千谷 6	21	22	23
	24 津南 6	25	26 頸北 7	27 妙高高原 7	28	29	30
11月							
		1 直江津 7	2 新井 7	3 文化の日	4	5	6
	7	8	9 水原・豊栄 1	10 見附 4	11 吉田 4	12	13
	14	15 田上あじさい 4	16	17 加茂 4	18	19	20
	21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27
12月							
				1 燕 4	2	3	4
	5 新潟北 2	6	7	8 新潟西 2	9 新潟東 2	10	11
	12 新潟万代 2	13 新潟中央 2	14 新潟南 2	15	16	17	18
	19	20 新潟 2	21	22	23 天皇誕生日	24	25
12月	26	27	28	29	30	31	

2011-2012 年度 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	6月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		88.05	332	335	29	3
新発田	40	98.91	79	80	0	1
村上	45	81.93	35	36	6	1
水原	43	81.75	21	25	1	4
中条	47	88.34	35	29	1	-6
新発田城南	45	90.87	44	42	5	-2
豊栄	48	92.19	21	23	4	2
新発田中央	47	90.56	46	49	4	3
中条胎内	48	84.24	28	28	4	0
村上岩船	42	83.67	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)		85.72	392	418	23	26
新潟	47	88.49	77	87	0	10
新潟東	49	92.44	54	58	5	4
新潟南	47	85.92	71	80	0	9
佐渡	36	77.17	14	14	0	0
新潟西	44	84.54	34	33	1	-1
佐渡南	46	89.35	44	47	6	3
新潟北	44	81.22	36	37	0	1
新潟中央	46	88.26	22	23	2	1
新潟万代	42	84.11	40	39	9	-1
第3分区(6クラブ)		79.32	148	146	6	-2
新津	47	76.27	25	24	0	-1
村松	46	84.56	7	9	0	2
五泉	47	84.62	22	20	2	-2
白根	48	82.09	49	50	2	1
新津中央	48	81.96	35	33	1	-2
阿賀野川ライン	40	66.42	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)		80.68	372	371	20	-1
三条	48	85.73	52	55	0	3
燕	46	74.47	26	24	0	-2
加茂	47	79.47	38	37	5	-1
三条南	40	90.63	48	46	0	-2
分水	47	91.36	32	30	2	-2
見附	48	75.83	16	19	1	3
吉田	47	85.85	37	35	2	-2
三条北	47	78.25	66	72	4	6
巻	45	79.13	14	14	0	0
田上あじさい	48	69.18	5	5	1	0
三条東	46	77.54	38	34	5	-4

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	6月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		89.02	297	309	31	12
長岡	47	89.77	41	46	2	5
柏崎	47	89.00	44	46	0	2
長岡東	46	88.05	68	65	6	-3
柏崎東	43	96.08	43	44	4	1
栃尾	46	83.45	22	23	0	1
長岡西	46	84.51	38	42	5	4
柏崎中央	43	92.30	41	43	14	2
第6分区(6クラブ)		84.70	149	149	7	0
十日町	47	96.11	32	34	0	2
小千谷	45	82.11	33	37	3	4
雪国魚沼	47	75.64	22	19	1	-3
十日町北	47	93.68	25	21	1	-4
津南	43	85.96	25	27	2	2
越後魚沼	49	74.69	12	11	0	-1
第7分区(9クラブ)		82.07	319	319	21	0
高田	49	84.06	69	68	1	-1
直江津	48	82.85	44	43	2	-1
新井	47	72.93	33	32	2	-1
糸魚川	44	79.07	36	36	1	0
妙高高原	41	88.23	6	5	0	-1
高田東	41	83.47	36	38	2	2
糸魚川中央	48	77.05	36	35	0	-1
頸北	47	89.58	16	16	1	0
越後春日山	47	81.41	43	46	12	3

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
6月末 会員数	2,047	人
女性会員数	137	人
純増減会員数	38	人
年間平均出席率	84.16	%

編集後記に代えて

地区幹事雑感



地区幹事 小山 楯夫(新潟RC)

最初におことわりしますが、長文で真にご迷惑のことをお許し下さい。読みにくいと思いますが、2年間で感じた多くの事がありますが、地区組織・運営・管理についてその幾つかを記述しました。

ロータリーのレールに乗せる

2010年1月頃だったと思うが、ガバナー・ノミニーに決まったばかりの石本隆太郎氏から2011-12年度の地区幹事を受けて貰いたい旨話しがあった。

2004-05年度、横山ガバナーにも地区幹事を任命された。「何故若いロータリアンを指名しないのか」と尋ねると、「地区の運営・管理を軌道に乗せたい」とのことだった。そして「俺と一緒に活動してほしい」と言われ、根性よく二度目の地区幹事を引き受けた。この間、地区役員諸兄には辛辣な事ばかり申し上げて、さぞ不満だらけの一年間であったと思う。

地区・クラブの運営・管理をドラスティックに変える必要があると思う。然し、変えると言っても、指導者達の都合の良いように変えるのではない。ロータリーの理念(規則)に基づいて、現状に即した運営・管理を行う事だ。長い間に少しずつ変化し、大きく変ったロータリーだ。全て、とは言わないが、クラブや地区の指導者達は変化を認識してきたのだろうか。

突然の地区役員委嘱で、何をどうすればいいのか任務・ノウハウが分からない。前年度、或いは往年の方法を踏襲すれば先輩達から文句は出ない。この様な指導者の下、クラブ、個々の会員は分担金を賦課されて、適切に使われているかどうか考える事があるだろうか。また、クラブの代表者である会長・幹事をはじめ指導者は、PETS・地区協議会の後、地区の事業計画、予算などを会員に詳しく説明し検討しているだろうか。例会はこれらの事を討議する場ではないか。指導者には指導者としての責任がある筈だ。

クラブに帰って、会議の報告では「議題〇〇が賛成多数で決まった」。この程度かも知れない。会議に出席して、真剣にクラブを代表する意見を述べて討議し、決議したのだろうか。「長い物には巻かれろ」で地区役員などの提案に、物事を判断する事さえしなくなったクラブ代表者。これでクラブや地域、青少年の育成にロータリーを発揮できるのだろうか。無気力、無関心、無思考では責任回避であり、代表者の資格に疑問がある。時には議論が激突する事もあろう。大いに論じ、周りに聞かせ、結論を出せばいい。何も考えない者は、会議に参加する必要も資格も無い。もっと大切な別の事をしていればいいのだ。時間の無駄である。物を考え、発言し判断できる代理人を参加させればいい。

★ 付和雷同の汚名を恐れよ「独立思考者の安全ではない道を^{さら}行け。危険な論争にあなたの思考を曝せ。あなたの心を語り、『変人』というレッテルを貼られることより付和雷同の汚名を恐れよ」★

トーマス・ジョン・ワトソン (1874 - 1956) IBM 社長

従業員が働いている時間、例会場で企業のトップが集まり昼食を食べて、いつも会っている仲間とゴルフや趣味、飲み会の話しに花を咲かせてはいないだろうか。会社経費でロータリーの会費を納入している会員は、どのように考えるだろうか。「例会をサロン化するな」と入会間もない頃、或るガバナーが言っていたことを思い出す。

会員増強と会費（会費とメリット）

毎年、会員が減少している昨今、会員増強が声高に強調されている。例えば、自社の製品を人に売る（勧める）場合、その製品情報を正しく知り、客に詳しく説明できなければ買っては貰えない。ロータリーに勧誘するとき、既存会員はロータリーをどの様に説明しているのだろうか。「まあ、いいから買ってくれ」ではすぐに無用の長物となり、捨てられてしまう。会員増強には、先ず、既存会員のロータリー情報教育から始めなければならない。諸兄は、どのように説明されて入会したのだろうか。地域の著名人の名を挙げて、「誰々さんも会員だ。あんたも入会しないか」などと言って勧誘してはいないだろうか。ステイタスのシンボル、親睦も否定はしないが、その先は？・・・。

最近のロータリーは、間違った方向に進んではいけないだろうか。「奉仕、奉仕」と叫び、「汗出せ、金出せ、時間くれ」挙句の果てに、若い会員は献血で「血液」まで採られる。こんな処に若い会員が、高額の入会金と会費を払い、社会奉仕活動をしようと思って入会するだろうか。何故、それほど会員を増やさねばならないのだろうか。RIや地区・クラブの運営資金減少のためか。組織が大きくなれば当然運営経費がそれなりに膨らんでくる。

地区役員

地区役員になると、就任挨拶では「何も分らない。一年間皆様のご協力・ご指導を得て勉強していきたい」などと言うことがある。分らない者がクラブやクラブの委員会等の指導・助言ができるのだろうか。「ロータリーは人生の道場」と言われ、「自己修練の場」だ。他人の金（賦課金）を使って、ロータリアンが自己修練して貰いたくないと思う。「超我の奉仕」や「四つのテスト」の標語が虚しい。

日本全地区規模の委員会研修会、ガバナー会会議等々、これ等の会議・研修会などに旅費、登録料を支給され参加したからと言って、地区・クラブ運営にどれ程の効果が得られ、クラブに浸透しているだろうか。ロータリーの「〇〇奉仕活動の手引き・〇〇要覧」など、ロータリーの最新情報等はインターネットでいくらかでも読むことができる時代だ。

日本の地区役員、クラブ会長など年配の会員に意外とIT識字率が低い。全て事務局任せで自ら事務処理をしない。これでは経費も嵩む。メールの読み書き、送付、ホームページを読んだりするくらいなら、特別な技術を必要とする訳ではない。指の二・三本でキーボードとマウスの使い方を覚えれば、今日から世界が広がる事は間違いない。

地区役員・委員の会議では交通費が支給され、ホテルなどで昼食を取り、一体どれほどの事柄を討議・研修しているのだろうか。これらの地区指導者・役員は顎足が付かなければ奉仕の相談も研鑽もできないのだろうか。勿論、地区会計基準の下で私も洩れなく戴いてきた。ロータリーは、そんな処ではないは筈だ。

とにかく、地区の諸会議が多すぎる。とてつもない賦課金をロータリーが徴収し、その殆どをロータリアンが地区組織運営のために使っている。不思議な奉仕団体？だ。

ロータリーの諸会合では、ガバナー、ガバナー・エレクト、クラブ会長エレクト、地区代表議員、委員会の招集者以外、義務出席とか会員数の何パーセント出席などと云うものは無い。諸外国ではどうだろう。広大な地区や、一つの地区が複数の国にまたがっているような地区では、頻繁に集まって会議ができない。集まる必要も無い。ガバナー事務所は、自宅で奥さんの手伝いを得て二人で処理している。日本のロータリアンには想像できないだろうが事実である。各委員長が任務を熟知して、これまた、ほんの数人でガバナーと離れて自宅で執務し、IT を利用して関係者と連絡を密に取り合っている。

3 年任期の委員会で最後の 1 年間で自動的に委員長になる。本来、委員長の任命権はガバナー(エレクト年度)にある。ガバナー・エレクトに就任した年の 7 月 1 日に任命し、1 年間ガバナー・エレクトと研修し、ガバナー就任年度に委員長を務めるべきであると思う。3 年目のベテラン委員長は、継続的活動などのアドバイザーの役職で残れば良い。ガバナーが任命した委員長でないと、プロ化した委員長がガバナーの方針などはそっちのけで前年度事業を踏襲する。委員が、総入れ替えしてしまうと以前の事が分らなくなるので、3 年任期としているだけで 2 年目が副委員長で、3 年目が委員長である必要もない規定もない。委員の任命はガバナーの任務であって委員長ではない。

地区(= RI)とは

国際ロータリーでは、地区の役割を次のように定義している。

「地区とは、RI の管理運営のために、RI 細則に従って RI 理事会によって設けられた地理的な境界内にあるクラブのグループである。ロータリー地区の活動およびその組織は、個々のロータリー・クラブがロータリーの綱領を推進するのを援助することを唯一の存在目的とするものであり、地元レベルにおいてクラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を命令したり、減殺したりするようなことがあってはならない」。

ロータリーでは、個々の会員やクラブに奉仕活動を選ぶ絶対的権限を保障している。地区がクラブに対して寄付や奉仕活動を強制する事はできない。RI や地区は奉仕活動・プロジェクトの提案者ではあっても、その母体ではない。クラブが自主的に活動すればいいのである。地区は、クラブ群の上部組織ではない。

地区諮問委員(地区アドバイザー)

諮問委員は、パスト・ガバナーが自動的に委員となって、ロータリーを退会しない限り終身諮問委員である。これは RI 細則で規定されている。何の議決権限もない RI の元役員が諮問委員として毎年一人ずつ増える。会員の資格は一般会員と全く変わらない。

RI の規定では、1 年に一回国際協議会開催後、参加したガバナー・エレクトからその報告を受ける為に、諮問委員会が開催されなければならない。ガバナーが、何か相談する事があれば、諮問委員に意見を聞いて参考にすれば良い。「諮問委員の助言・行動によってガバナー権限・責務が少しでも損なわれてはならない」と規定している。

ガバナー終了後、何時までも地区役員の特別指定席で、地区の理事会と勘違いしているかのようだ。ロータリーの地区組織には理事会と云うものは存在しない。重要事項の決定権はクラブ代表者にあり、会議で討議された後に決議される事になっている。クラブ会長の責任は大きい。諮問委員は、討議機関でも決定権者でもない。

ガバナーが物事を改革・変更しようとする、往年踏襲してきた事を、否定されたかのように勘違い

して反論する。当然、定款・細則に反する改革・変更等は論外である。過去の事はどうでもよい。

自分の所属するクラブ管理・運営はどうなっているのか見てみたい。ドイツ統一の立役者ビスマルクは引退後、生まれ故郷の村長になり慕われて生涯を閉じた。我が国にも、晩年、本人の強い希望で生まれ故郷の私立北予中学校（現在の愛媛県立松山北校）の校長職に就いた陸軍大将、秋山好古がいる。地区を指導するなら覚悟が必要だ。諮問委員は、ロータリーの理念・規則を熟知し、ガバナーと共有した上で大いに助言し、協力すべきである。また、一人のロータリアンとして地域クラブの指導・奉仕活動に専念して貰いたい。寄付金額のことではない。

地区特別会計(C 予算)と寄付

当地区特別会計(C 項目の会計)の殆どは 57 クラブ中、数クラブにしか係わり合いがない活動である。しかし、2000 名の会員が 1 人当り年間 8,000 円徴収されている。本当に新世代・青少年などのプログラム、その他の奉仕活動がロータリーの精神で、育成や実践されているだろうか。まるで、どこかの国の役人が、予算を消化しているように見えてくる。

RI は、当地区 C 項目の活動（青少年交換・ローター・アクト、インター・アクト、GSE プログラム、災害援助等）を、地区やクラブに推奨はしても義務付けている訳ではない。過半数クラブの賛成票が無ければ事業を実行できず、分担金も徴収する事はできない。地区は提案者であって、推奨・助言・指導する任務であって、事に依れば金銭支援もすることができる。

ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付も、半ば強制的なお願いはあっても義務付けられてはいない。クラブや地区が会員に年間 100 ドルとか 18,000 円と決めて会費に含めて賦課することや、義務づけることは規則に抵触することになる。当該年度ガバナーが国際協議会やガバナー・エレクト研修会で洗脳され、34 地区ガバナーのメンツに懸けて目標額を達成したいだけの事である。ロータリー財団や米山記念奨学会は、金額を明示して一生懸命寄付のお願いはしても、寄付は義務ではない。一円の寄付をしなくとも会員の身分は終結しない。ロータリー財団のオリジナル標語は、「Every Rotarian Every Year」である。それが海を渡って日本に上陸すると「あなたも毎年 100 ドルを」と歪曲された標語となる。

終わりに

ロータリーを知れば知るほど幹線レールから外れて走っているようである。ロータリーの行方を心配したイギリスのロータリアンが「明日のロータリーは何処へ行く」と嘆いたところ、バーナード・ショー（イギリスの皮肉屋劇作家ロータリアン）が「ホテルへ昼飯食べに行く」と言ったそう。

この辺でロータリーのロンダリング（洗濯）が必要ではないか。クラブ単位でファイアースайд・ミーティング、クラブ討論会、IM などとことん話し合ってみてはどうだろうか。一人ひとりのロータリアンが誇りに思っている所属している団体「ROTARY」を少し深く考え、理解することも時には必要ではなかろうか。戦略計画・明日のクラブ活性化のために。

ロータリー・ソング「奉仕の理想、我等の生業、それでこそロータリー、四つのテスト」などロータリーを端的に表現した唄を毎週例会で歌っている。

然し、「ロータリー 歌う前から 鐘一つ」だ。

	110%以上		110%以上
	100%以上 110%未満		105%以上 110%未満
	80%以上 100%未満		95%以上 105%未満
	60%以上 80%未満		85%以上 95%未満
	60%未満		85%未満

1992-93(栗山年度)～2011-12(石本年度) 7月1日現在・会員数対比
第2560地区・会員数順・クラブ会員数(女性会員数)対比表

2011-12年度 6月末日現在

	110%以上
	105%以上 110%未満
	95%以上 105%未満
	85%以上 95%未満
	85%未満

ガバナー 石本 隆太郎 作成

		1992-93 栗山年度 (A)		2003-04 原 年度(B)				2004-05 横山年度(C)				2005-06 神成年度(D)				2006-07 中條年度(E)				2007-08 渡辺年度(F)				2008-09 馬場年度(G)				2009-10 植木年度(H)				2010-11 東山年度(I)				2011-12 石本年度(J)				2011-12 石本年度(K)				
		会員数		会 員 数				会 員 数				会 員 数				会 員 数				会 員 数				会 員 数				会 員 数				会 員 数				6月末会員数								
R	C	名	7月1日 現在	女性 会員	7月1日 現在	女性 会員	B-A	B/A %	7月1日 現在	女性 会員	C-B	C/B %	7月1日 現在	女性 会員	D-C	D/C %	7月1日 現在	女性 会員	E-D	E/D %	7月1日 現在	女性 会員	F-E	F/E %	7月1日 現在	女性 会員	G-F	G/F %	7月1日 現在	女性 会員	H-G	H/G %	7月1日 現在	女性 会員	I-H	I/H %	7月1日 現在	女性 会員	J-I	J/I %	6月末 日現在	女性 会員	K-J	K/J %
1	新	新潟	138	0	84	0	-54	61	91	0	7	108	85	0	-6	93	82	0	-3	96	86	0	4	105	83	0	-3	97	78	0	-5	94	80	0	2	103	77	0	-3	96	87	0	10	113
2	新	発田	89	0	78	0	-11	88	78	0	0	100	72	0	-6	92	73	0	1	101	74	0	1	101	77	0	3	104	78	0	1	101	76	0	-2	97	79	0	3	104	80	0	1	101
3	新	潟南	94	0	52	0	-42	55	54	0	2	104	61	0	7	113	66	0	5	108	73	0	7	111	74	0	1	101	72	0	-2	97	65	0	-7	90	71	0	6	109	80	0	9	113
4	三	条北	56	0	57	2	1	102	60	3	3	105	60	3	0	100	59	3	-1	98	66	3	7	112	66	4	0	100	67	4	1	102	70	4	3	104	66	3	9	94	72	4	6	109
5	高	田	86	0	83	0	-3	97	82	0	-1	99	80	0	-2	98	93	0	13	116	87	0	-6	94	82	0	-5	94	75	0	-7	91	74	0	-1	99	69	1	-5	93	68	1	-1	99
6	長	岡東	69	0	72	6	3	104	74	6	2	103	67	7	-7	91	75	6	8	112	75	6	0	100	72	6	-3	96	74	6	2	103	68	6	-6	92	68	6	0	100	65	6	-3	96
7	新	潟東	103	0	56	0	-47	54	54	0	-2	96	51	0	-3	94	57	0	6	112	54	0	-3	95	55	0	1	102	54	0	-1	98	51	0	-3	94	54	2	3	106	58	5	4	107
8	三	条	74	0	64	0	-10	86	62	0	-2	97	64	0	2	103	58	0	-6	91	62	0	4	107	59	0	-3	95	54	0	-5	92	53	0	-1	98	52	0	-1	98	55	0	3	106
9	白	根	56	0	49	1	-7	88	51	1	2	104	49	1	-2	96	51	1	2	104	55	1	4	108	58	1	3	105	54	1	-4	93	51	0	-3	94	49	2	-2	96	50	2	1	102
10	新	発田中央	1993.5.18 C・M 43名		34	1	-9	79	35	1	1	103	33	1	-2	94	38	1	5	115	38	1	0	100	40	1	2	105	43	1	3	108	43	2	0	100	46	3	3	107	49	4	3	107
11	佐	渡南	38	1	39	3	1	103	43	3	4	110	40	3	-3	93	39	3	-1	98	39	4	0	100	44	6	5	113	44	5	0	100	43	5	-1	98	44	6	1	102	47	6	3	107
12	三	条南	69	0	66	0	-3	96	63	0	-3	95	64	0	1	102	62	0	-2	97	60	0	-2	97	58	0	-2	97	54	0	-4	93	51	0	-3	94	48	0	-3	94	46	0	-2	96
13	長	岡	75	0	46	1	-29	61	46	1	0	100	43	3	-3	93	40	3	-3	93	43	3	3	108	45	3	2	105	42	2	-3	93	42	2	0	100	41	2	-1	98	46	2	5	112
14	柏	崎	62	0	45	0	-17	73	45	0	0	100	36	0	-9	80	39	0	3	108	39	0	0	100	44	0	5	113	45	0	1	102	44	0	-1	98	44	0	0	100	46	0	2	105
15	越	後春日山	1995.2.26 C・M 36名		36	5	0	100	34	5	-2	94	31	5	-3	91	32	5	1	103	33	5	1	103	32	5	-1	97	36	7	4	113	43	12	7	119	43	12	0	100	46	12	3	107
16	柏	崎東	62	0	51	2	-11	82	47	2	-4	92	47	2	0	100	50	2	3	106	48	1	-2	96	49	2	1	102	45	2	-4	92	45	2	0	100	43	2	-2	96	44	4	1	102
17	柏	崎中央	2001.5.22 C・M 33名		32	6	-1	97	35	7	3	109	37	10	2	106	37	10	0	100	39	11	2	105	44	11	5	113	45	11	1	102	46	12	1	102	41	12	-5	89	43	14	2	105
18	直	江津	55	0	51	4	-4	93	59	4	8	116	49	3	-10	83	46	3	-3	94	55	6	9	120	49	4	-6	89	51	3	2	104	43	2	-8	84	44	2	1	102	43	2	-1	98
19	新	発田城南	72	0	44	3	-28	61	47	3	3	107	42	2	-5	89	44	2	2	105	45	3	1	102	44	3	-1	98	43	3	-1	98	45	6	2	105	44	6	-1	98	42	5	-2	95
20	長	岡西	58	0	44	3	-14	76	51	3	7	116	48	3	-3	94	46	3	-2	96	48	3	2	104	50	3	2	104	47	4	-3	94	42	4	-5	89	38	4	-4	90	42	5	4	111
21	新	潟万代	1993.6.7 C・M 50名		34	7	-16	68	35	7	1	103	32	7	-3	91	32	6	0	100	35	7	3	109	40	11	5	114	41	11	1	103	39	10	-2	95	40	9	1	103	39	9	-1	98
22	高	田東	71	0	45	2	-26	63	48	2	3	107	49	2	1	102	45	2	-4	92	45	2	0	100	44	2	-1	98	40	2	-4	91	36	2	-4	90	36	2	0	100	38	2	2	106
23	新	潟北	61	0	37	0	-24	61	32	0	-5	86	31	0	-1	97	30	0	-1	97	32	0	2	107	38	0	6	119	38	0	0	100	35	0	-3	92	36	0	1	103	37	0	1	103
24	加	茂	47	2	44	3	-3	94	36	4	-8	82	36	4	0	100	34	4	-2	94	34	5	0	100	35	5	1	103	36	5	1	103	37	5	1	103	38	5	1	103	37	5	-1	97
25	小	千谷	54	0	32	1	-22	59	31	1	-1	97	31	3	0	100	30	2	-1	97	34	2	4	113	37	3	3	109	35	4	-2	95	34	4	-1	97	33	4	-1	97	37	3	4	112
26	村	上	49	0	40	4	-9	82	44	6	4	110	43	8	-1	98	40	7	-3	93	41	7	1	1																				



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>